

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	22%	67%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が車椅子に乗車しないときは、隅に移動し活動スペースを確保している。 ・利用のお子さんが大きい子や動ける子が多いときには、テーブルを片付ける、事務所に座位保持椅子等を移動するなど、少しでも多くのスペースをできるように工夫している ・整理整頓 ・事務スペースに座位保持椅子を移動させる、活動に合わせてテーブルを移動させる等、活動スペースが広く使えるよう工夫した。 ・事務所の壁の移動を検討中。整理整頓して広さを確保している。 ・活動室が狭いため、排泄チェック用の布団を都度片付ける・テーブルをどかすなどの工夫をしてスペースの確保をしている。 ・安静タイムにはバギーなど移動してスペースを作っている。整理整頓を心がけている 	
	2 職員の配置数は適切である	56%	33%	11%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者1人に対し職員1人がついている時間が多いと思う。 ・新入社員が入ってくれたら良い。かつ、マイナスの人数でも安全に活動する工夫をするという考え方をもっと癖付け、人数が足りなくても安全に楽しんでもらえるよう考えていきたい。 ・タイミーさんに来ていただいている。声かけしあってお互い助け合っている。 	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	78%	11%	11%	危険なく過ごしてもらえるよう、スロープなどをつけている。	
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・チャットワークを活用している ・朝礼や夕礼でコミュニケーションを取っている 	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	89%	11%	0%		保護者様からの意見情報を記録だけではなく口頭でも伝達されることが多い。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	89%	11%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	44%	33%	22%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	89%	11%	0%	・同じ意識で支援できるように会議等で話し合っている ・各職員が研修を担当し、様々な職種の研修を全員が受けられるようになっている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	56%	33%	11%		
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	89%	11%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月カンファレンスをおこなっている ・日々の記録を支援計画に沿って記載することで、各児童の支援計画を実施できているか確認できる。 	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	89%	11%	0%	毎月、会議を行いはなしあっている	
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・その時期にあった活動を組み込んでいる ・新たな活動を積極的に行っている 	
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	89%	11%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・特に外出活動の際には、活動の行程表を各自見ることによって把握できている。 ・毎朝朝礼を行い、本日の活動・本日の医療的ケア・本日のリハビリについて、職員全員が共有できるようにしている。 	
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	89%	11%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・個人記録を読むことで振り返りしている。 ・毎日終礼を行い、共有した内容を翌朝の朝礼でも共有するようにしている。 	・全員参加できなく、課題である	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	89%	11%	0%	気付いたことは小さなことでも共有している	
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	モニタリングには多職種が参加し、専門的な視点からもアセスメントしている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	89%	11%	0%		
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	67%	33%	0%		
	22 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	89%	11%	0%	送迎時に担任に体調や様子を細かく確認している	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	0%	必要時、主治医に医療的ケアについて丁寧に確認している	
	24 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	11%	22%		
	25 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	78%	22%	0%		
	26 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	78%	22%	0%		
	27 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	67%	11%	22%	公園や図書館、児童館で交流を持てるようにしている	
	28 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	89%	11%	0%		
29 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		0%	送迎時に保護者と積極的にコミュニケーションを取り、職種で共有している		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	33%	44%	22%		
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%		
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	0%		
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%		
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	78%	22%	0%		
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%		
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	89%	11%	0%		

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37 個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	0%		
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	89%	11%	0%	意思表示の仕方など適宜、職員間で情報共有している。	
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	22%	11%	67%		
非常時等の対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	78%	22%	0%		
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	89%	11%	0%	災害訓練後に振り返りを行い、対応している	
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	89%	11%	0%		
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%		
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	毎月の会議で振り返りを行っている	
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%		
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	0%		

●この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

●選択肢「どちらともいえない・わからない」があるため、「はい」と「いいえ」の割合合計が100%に満たない場合があります